

教科【技術・家庭】・種目【家庭分野】

書名 項目	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	2 東書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○内容を裏付ける実験などの資料を取り上げ、科学的な根拠に基づいた知識が習得できるよう工夫している。また、必ず身に付けさせたい基礎的な技能を「いつも確かめよう」にまとめ、技能を確実に習得できるよう工夫している。各編の最後に「学習のまとめ」を設け、大切な用語のチェックリストにより、知識の定着を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各編の導入において関連する見方・考え方をキーワードで例示し、多角的な視点から考える思考ツールにより判断・決定したりし、楽しみながら問題解決に取り組める工夫をしている。 ○実習例では「私のオリジナル」として工夫例を取り上げ、生徒の創造性を引き出すことができるよう工夫している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各節のはじめに「目標」を掲げ、見通しと課題意識を持って学習を進められ、各節の最後には「自己評価」欄を設け、自分なりに学びを見つめ返し、自己調整力を高める機会となる工夫がされている。 ○家庭分野の学習に関わる仕事に従事している方からのメッセージや豆知識で、より深い学び、より深い考えができるように工夫されている。</p> <p><実践的・体験的な活動の工夫> ○多様な実習例を数多く取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。「食品の切り方」や「まつり縫い」の部分には、左利きの方法も掲載している。 ○家庭や地域の人との関わりや、高齢者との関わりを考えるロールプレイング、消費者トラブルへの対処法を考える漫画での活動例などを示し、楽しみながら実践的・体験的な学習活動ができるよう工夫されている。家庭でも課題に臨むことができる。</p>	
資 料	<p>○写真やイラストなどの資料を効果的かつ豊富に用いている。また防災・減災手帳や子供の視界体験眼鏡の付録がある。 ○巻末に、「防災・減災手帳」を付録して、近年の様々な災害に備えられるようになっている。また、切り取って持ち運びができるようになっている。 ○デジタルコンテンツが用意され、該当箇所にはDマークを付している。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○各編と各章、見開きの右端に、爪となる色帯を施し、検索しやすいように工夫されている。 ○題材名や資料の部分はゴシック体を使用し、重要語句は太字を用いて表記している。 ○安全や衛生のポイントに、それぞれのマークを付し、生徒の意識を高める工夫がある。 ○ページ下に、「せいかつメモ」を設け、学習を深める豆知識が記載されている。</p>	
総 括	<p>○各編末の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設け、編の学習を総合的に生活に生かせるようになっている。 ○ガイダンスの後、B（衣食住）、C（消費・環境）、A（家族）の内容順に配列されており、「食育」を重視し、「食生活」から始まる構成になっている。また「生活の課題と実践」を巻末に掲載している。</p>	

教科【技術・家庭】・種目【家庭分野】

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">New 技術・家庭 家庭分野</h1> <h2 style="text-align: center;">くらしを創造する</h2>	<div style="text-align: center;">6</div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 図</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の最後のページに「学習のふり返し」があり、「知識・技能」を身に付けたか確認することができる。各節の最初には、学習の「めあて」と「キーワード」があり、学習のポイントが分かりやすい。 ○各実習例の最後には、技能の習得が確実にできたか確認する項目「ふり返る」があり、技能の確実な習得が確認できる。実習の手順は、図解や各工程を色分けして示すなど、分かりやすく表示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な生活の中から問題を発見し、課題を設定して解決できるよう、問題解決的な学習の例を多く示している。また問題解決的な学習に適した実習題材を掲載し、題材を工夫するコーナーを設け、創造性を培うことができるよう工夫されている。 ○各章末にある「学びを生かそう」で、問題解決的な学習を、手順に沿って繰り返し取り上げ、これからの生活を展望して課題を解決する力を養える工夫がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の中盤や章末に、地域や社会で活躍している方や、専門学校へ進学した先輩など、学習にかかわりのある人たちからのメッセージを取り上げることで、生活を工夫し創造する実践的な態度を養えるよう工夫されている。 ○「持続可能な社会の構築」を意識し、SDG s・プラスチックごみ問題・食品ロスなどの話題を豊富に取り上げている。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の中に、「話し合ってみよう」や「調べてみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができる項目が多く掲載され、実生活に生かされる工夫が見られる。 ○実習時の服装や取り組み方、事故防止や衛生面について取り上げ、生徒が安全に注意しながら取り組めるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに沿って生徒の興味・関心をひく写真やイラストを見開きで掲載し、学習にスムーズに入れるような工夫が見られる。「衣食住の生活」では、科学的な根拠が分かる資料が掲載されている。 ○各章の導入では、生徒同士や先生との会話の場面で中学生の生活の1コマを取り上げ、学習意欲を奮起できるような工夫が見られる。 ○調理動画などのコンテンツが参照できるQRコードが掲載されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○爪見出しを各内容と章別に色分けするとともに、学習内容を短文で示すことで、何を学ぶのかが分かりやすくなるような工夫が見られる。 ○題材名や資料部分はゴシック体、内容文は明朝体を使用し、重要語句は太字と色付けを行うことで強調させ、見やすくなる工夫がある。文字が大きく見やすい。 ○キャラクターのつぶやきがあり、学習のポイントが示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各内容に沿って、学習の「めあて」と「キーワード」があり、学習時の身に付ける内容の確認と、学習後のまとめに役立つ構成になっている。 ○ガイダンスの後、A（家族）、B（衣食住）、C（消費・環境）の内容の順に配列し、「生活の課題と実践」を各内容の後に掲載している。資料や豆知識などの情報量が豊富にある。 	

教科【技術・家庭】・種目【家庭分野】

書名 項目	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	9 開隆堂
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が厳選して的確に記述され、易から難へと確実な習得ができるように工夫されている。他教科他分野へのリンクがあり、関連を生徒に意識させ、知識や技能の習得に繋がるような工夫がある。 ○各章ごとに学習内容の「ふり返し」のページがあり、生活に必要な知識や技能が身に付いたか確認するための工夫がある。 ○調理方法Q&Aにより、科学的根拠に基づいた知識・技能の習得が図られる工夫がある。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の日常生活の中から問題を見出し、課題を設定することができるよう、ヒントを提示し、さまざまな解決方法を考える手立てが示されている。 ○各題材のまとめで、「ふり返し」や「生活に生かそう」のコーナーがあり、実生活に即した課題が設定されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活の営みに係る見方・考え方の観点を確認しながら、それぞれの題材の中で、実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力が育まれるよう構成が工夫されている。 ○学習前後の生徒の変容がみとれるように、ガイダンスのページには「わたしの興味・関心」を記入する欄が設けられている。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の随所にある「考えてみよう」「やってみよう」「生活にいかそう」の設定により、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができる内容が多く掲載され、実生活に生かされる工夫が見られる。 ○調理の手順では、すべて写真で示されているので、生徒が状態を確認しながら進められる工夫が見られる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける、写真やイラスト、図表が効果的な表現や分量・大きさを示されている。 ○各編の項目や実習・製作のページにURLやQRコードを記載することで、生徒がより主体的に学習に取り組めるような工夫が見られる。 ○防災・減災の観点から、巻末に「いのちと生活」を守るための資料が豊富にある。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○内容ごとに色分けをし、爪見出しには、関連する内容の写真やマークなどを示している。題材名や資料部分はゴシック体、内容文は明朝体、重要語句は太字を用いて表記している。 ○「好きになる野菜の調理」など題材名が生徒に受け入れやすい表現である。 ○「参考」「探究」「豆知識」などのマークでポイントを示している。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習の目標」を明記し、学習のまとめごとに「ふり返し」欄を設けて、学習のまとめや反省、自己評価をさせるようになっている。 ○ガイダンスの後、A（家族）、B（衣食住）、C（消費・環境）の内容の順に配列し、巻末に「生活の課題と実践」を掲載している。 	

